

アクセスカウンターについて

2025/08/13

カウンタープラグインのカウンターのルールと使い方について説明します。

カウンター（アクセスカウンター）とは、そのサイトやページを閲覧（アクセス）した人数をカウントするものです。

ただし、厳密に人数がわかるわけではなく、おおよその数となります。

1. カウンターの仕組み

カウンターは、ブラウザのセッションをカウントするものです。

ブラウザのセッションとは、「ユーザーがそのブラウザでサイトにアクセスしてから離脱するまでの一連の通信」のことです。具体的には、そのサイトへの接続開始から、サイト内を移動したり、情報を入力したり、ログアウトしたりする一連の操作を指します。

一度サイトに接続したらトップページ以外のいずれのページを閲覧してもログアウトするまで、1セッションとカウントされます。

また、同じサイトを同じ人が閲覧していても、ブラウザが違っていたり、スマホやPCなど別々の媒体で閲覧したりしている場合は、すべて別々の「セッション」としてそれぞれ別々にカウントされます。

例：GoogleChromeで見て1カウント計上され、MicrosoftEdgeで同じサイトを見るとさらに1カウント計上されます。

さらに、同じ媒体で同じサイトを閲覧していても、一定時間何もせずに放置していて、数時間後にリロードしたり別のページに移動した場合も、新しい通信として「2セッション」とカウントされます。

2. Connect-CMSにおけるカウンタープラグインとは

Connect-CMS では、カウンタープラグインは全てのエリアに設置することも可能です。ただし、設置する場所やカウンターの設定によってカウントする内容が変わります。

2-1. サイト全体用のカウンターを設置する

① 新しくカウンターを設置する

例えば左右のエリアやフッターなどの共通エリアにサイト全体用のカウンターを設置すると、**サイト共通のカウンター**として使用することができます。

💡注意！！

サイト全体のセッション数（アクセス数）を取得するには、カウンターは必ずサイト共通のエリアに設置する必要があります。

個別のページのメインエリアなどにカウンターを設置した場合は、「そのページ単独の閲覧数」を表示します。（後述）

[無題]

[設定変更](#) [新規作成](#) [表示設定](#) [カウンター一覧](#) [カウンター選択](#) [フレーム編集](#) [フレーム削除](#)

① 新しいカウンター設定を登録します。

カウンター名 必須

初期カウント数

※ 未設定時は0で登録します。

[無題]
カウンター
@ ^ v ⚙

累計 1

今日 1

昨日 0

このようなカウンターが新しく作成されます。
 (表示状態は作成時デフォルトのもの)

※「初期カウント数」に特に設定しなければ「0」が自動的に登録されます。

このカウンター、サイト全体のセッション数を表示しています。

①-1. カウンター表示の設定

次に、カウンターの表示を変更してみましょう。
 表示の変更は、歯車マーク⇒「表示設定」から設定します。

ⓘ フレームごとの表示設定を変更します。

1 現在の表示

2 表示形式 数字 (カンマなし)

3 累計カウント

累計カウントの表示

表示しない 表示する

累計カウントの項目名

累計カウントの単位

①	現在の表示	②以下の表示設定を確定するとサンプルとして表示されます。
②	表示形式	数字の表示形式 (色付き数字や丸付き数字など)
③	累計カウント	ここは「累計」に関する設定です。ここが「表示しない」のままだと累計はカウンターには表示されません。プラグイン設置時のデフォルトでは、項目名「累計」と人数だけ表示されて、「単位」は表示されません。

本日のカウント

本日のカウント表示
 表示しない 表示する

本日のカウントの項目名

本日のカウントの単位

④

昨日のカウント

昨日のカウント表示
 表示しない 表示する

昨日のカウントの項目名

昨日のカウントの単位

⑤

④	本日のカウント	ここは「本日」に関する設定です。ここが「表示しない」のままだと本日の人数はカウンターには表示されません。プラグイン設置時のデフォルトでは、項目名「本日」と人数だけ表示されて、「単位」は表示されません。
⑤	昨日のカウント	ここは「昨日」に関する設定です。ここが「表示しない」のままだと昨日の人数はカウンターには表示されません。プラグイン設置時のデフォルトでは、項目名「昨日」と人数だけ表示されて、「単位」は表示されません。

最後に、一番下の を押下します。

例えばこのように表示させることができます。

今までの訪問者： **5** 人
 今日の訪問者： **1** 人
 昨日の訪問者： **1** 人

表示形式： badge_info

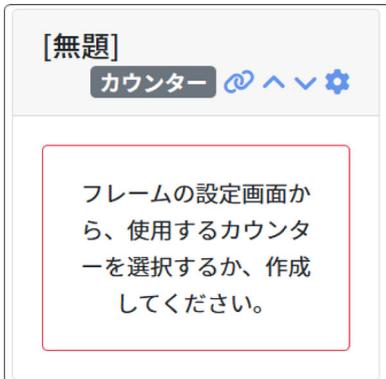
累計カウントの項目名：「今までの訪問者：」
 累計カウントの単位：「人」

本日のカウントの項目名：「今日の訪問者：」
 本日のカウントの単位：「人」

昨日のカウントの項目名：「昨日の訪問者：」
 昨日のカウントの単位：「人」

※この設定は、設置したフレームごとに行う必要があります。

② すでに作成した共通カウンターを別の共通エリアに移動させたい場合



左右の共通エリアなどにすでに作成済の共通カウンターをフッターなどの別の共通エリアに表示させたい場合は、まずは新規でそのエリアにカウンタープラグインを設置します。



次に、歯車マーク⇒「設定メニュー」⇒「カウンター選択」から共通エリア用のカウンターを選択します。

✓ 表示カウンター変更 ボタンで決定します。

※一度作成したカウンターは削除することができません。すべて「カウンター選択」の一覧に表示されています。歯車マーク⇒設定メニュー⇒「フレーム削除」でフレームを削除しても、カウンターのデータは削除されません。



サイトに戻ると何も表示されていませんが、これはカウンターのデータを選択しただけで、表示設定が何も行われていないためです。



① [新しくカウンターを設置する](#) で設定したように、各カウンタを「表示する」に変更すると表示されるようになります。

2-2. 特定のページ用のカウンターを設置する

一方、特定のページのみ閲覧数をカウントすることも可能です。

その場合は、必ずカウントしたいページの専用エリア¹（主にメインエリア）にカウンターを設置し、そのページ独自のカウンターを作成します。

作成方法は、[① 新しくカウンターを設置する](#) や [①-1. カウンター表示の設定](#) と同様です。

特定のページに作成したカウンターは、トップページ含めサイト内のどのページを閲覧していても、そのページを閲覧しなければカウントされません。

例：（サイト共通累計は5人でも、特定のページでは2人の状態）



3. カウンターのデータを確認・取得するには

カウンターのデータを確認するには、目視で確認する場合とデータをCSVファイルでダウンロードする場合の2種類の方法があります。

3-1. カウンターのデータを目視で確認したい

現在表示しているカウンターを目視で確認する場合は、歯車マーク➡「設定メニュー」➡「カウント一覧」から確認することができます。

¹ 例として、左右のエリアにそのページだけ共通エリアとは別にカウンターを設置してもそのページの閲覧数を表示することは可能です。その場合は、本来共通エリアに表示されているはずのメニューやバナー、共通エリア用のカウンターなどは表示されません。



日付	カウン ト数	累 計
2025/08/13 (水)	1	5
2025/08/12 (火)	1	4
2025/08/08 (金)	2	3
2025/08/07 (木)	1	1

☰ カウンター選択へ

「カウントー覧」を押下します。

一覧をCSVファイルでダウンロードしたい場合は、「カウンター選択へ」を押下します。

3-2. データをダウンロードしたい



① アクセスしたデータをCSVファイルでダウンロードするには、現在表示しているカウンターなら歯車マーク➡「設定メニュー」➡「カウントー覧」で目視した後に「カウンター選択へ」ボタンからこの画面に移動することができます。

② 直接この画面を開くには、歯車マーク➡「設定メニュー」➡「カウンター選択」に進みます。

③ カウンターの一覧が表示されますので、ダウンロードしたいカウンターの「ダウンロード」を押下すると、CSVファイルでアクセス状況をダウンロードすることができます。

さらにこの画面では、すべてのカウンターが表示されているので、サイトに表示していないカウンターのデータもここからダウンロードすることが可能です。

💡 ワンポイント。

特定の期間のアクセス合計数を取得したい場合は、ダウンロードしたCSVファイルを計算ソフトで読み込んで取得してください。

また、一度作成したカウンターを削除したり編集したりなどの変更はできません。複数のカウンターから合計のアクセス数を取得したい場合は、それぞれ読み込んだ計算ソフトから取得して計算してください。

4. アクセス数がおかしい時

以下の現象が起こった場合は、弊社までご連絡ください。原因を調査いたします。

- ・アクセス数が急に異常に増えた

※新規でサイトを開設した時や、サーバ移動やサイト移行などの大きな変更があった場合、Google 検索 や Yahoo! 検索などの検索サイトのbot (ボット)²が内容を収集するために多数のアクセスを行う場合があります、その場合は実際のアクセス数よりもはるかに多いアクセス数を記録する場合があります。

そのほとんどは心配のないものですが、中には悪意のあるアクセスもあるため、異常なアクセスの増加があった場合は調査いたしますのでご連絡ください。

- ・アクセス数が「0」になっている

※サーバ側のエラーの可能性もあります。調査いたしますのでご連絡ください。

² 検索サイトのボットとは、検索エンジンの検索結果を生成するために、ウェブサイトを自動的に巡回し、情報を収集するプログラムのことです。「クローラ」や「スパイダー」とも呼ばれます。

検索ボットは、一般的に「良性ボット」として分類され、ウェブサイトの情報を収集して検索エンジンに提供する役割を果たします。